

帯広市地域公共交通網形成計画(案) 新旧対照表

新	旧
<p>【P2 1-2】 こうした利用促進の取り組みやバス事業者の営業努力により、平成 27 年度の十勝管内の路線バス利用者は 4,463 千人となり、</p>	<p>【P2 1-2】 こうした利用促進の取り組みやバス事業者の営業努力により、平成 26 年度の十勝管内の路線バス利用者は 4,522 千人となり、</p>
<p>【P2 1-2】 一方、国においては、交通に関する施策について、基本理念及びその実現を図る基本となる事項を定めた「交通政策基本法」を平成 25 年 12 月に制定し、</p>	<p>【P2 1-2】 一方、国においては、交通に関する施策について、基本理念及びその実現を図る<u>のに基本となる事項を定めた「交通政策基本法」</u>を平成 25 年 12 月に制定し、</p>
<p>【P3 1-3】 本計画は地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第 5 条に基づき、持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生を推進するための計画として策定する。</p>	<p>【P3 1-3】 本計画は地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第 5 条に基づき、持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生を推進するための計画として策定する。<u>また、平成 29 年度には、同法第27条の2に基づき、本計画に定める地域公共交通再編実施事業を実施するための計画として地域公共交通再編実施計画の策定を予定している。</u></p>
<p>【P30 ⑦-ii）】 調査対象となった便での抽出調査になるが、秋期と比較して「18 歳未満」の割合が総じて高くなっている。</p>	<p>【P30 ⑦-ii）】 調査対象となった便での抽出調査になるが、「一中・療養所線」を除き、秋期と比較して、「18 歳未満」の割合が総じて高くなっている。</p>
<p>【P41 2-3 (2)】 回答者の約半数が路線バスとJR間の乗り継ぎを行っており、そのうち、約 2 割が「週に 1 日」以上乗り継ぎを行っていることから、日常的に乗り継ぎを行っている割合は、全体の 1 割程度と少ない。</p>	<p>【P41 2-3 (2)】 回答者の約半数が路線バスとJR間の乗り継ぎを行っており、そのうち、約 2 割が「週に 1 日」以上乗り継ぎを行っていることから、日常的に乗り継ぎを行っている割合は、全体の 1 割程度と少ない。 <u>乗り継ぎの際の目的としては、「その他の私用」が最も多い。</u></p>

新	旧
<p>【P42 2-3 (3)】</p> <p>「路線バスで共通のICカードが導入された場合」、約 3 割が路線バスの利用回数が「増える」との回答となっており、ICカードの導入により利用頻度の増加などが期待される。</p>	<p>【P42 2-3 (3)】</p> <p>「路線バスで共通のICカードが導入された場合」、約 3 割が路線バスの利用回数が「増える」との回答となっており、ICカードの導入により利用頻度の増加などが期待される。</p> <p>また、一方で「JRと相互利用が可能なICカードの場合」と比較した場合、路線バスの利用回数に大きな差は見られないことから、帯広市内でICカードの導入を検討する際、鉄道系ICカードとの相互利用は絶対的な条件にはならないものと考えられる。</p>
<p>【P52 3-1 (1)】</p> <p>・路線バスの利用者は、利用促進の取り組みやバス事業者の営業努力により近年は少しずつ増加しているものの、<u>いまだに赤字の路線が多く、バス事業者の運営は厳しい状況が続いており、</u></p>	<p>【P52 3-1 (1)】</p> <p>・路線バスの利用者は、利用促進の取り組みやバス事業者の営業努力により近年は少しずつ増加しているものの、赤字の路線が多く、バス事業者の運営は<u>まだまだ厳しい状況が続いており、</u></p>
<p>【P55 4-1 (1)】</p> <p>路線バス利用状況を把握するための評価指標として、市内完結路線における路線バス年間利用者数を設定する。</p>	<p>【P55 4-1 (1)】</p> <p>本計画の基本方針である「公共交通のサービスレベル向上」に基づき実施される<u>施策により、路線バス利用者増加を目指すことから、</u>評価指標として、市内完結路線における路線バス年間利用者数を設定する。</p>
<p>【P55 4-1 (2)】</p> <p>高校生等の通学の利便性向上について把握するための評価指標として、<u>通学定期券年間販売数を設定する。</u></p>	<p>【P55 4-1 (2)】</p> <p>本計画の基本方針である「公共交通のサービスレベル向上」に基づき実施される<u>施策により、高校生等の通学の利便性向上を目指すことから、</u>評価指標として、通学定期券年間販売数を設定する。</p>
<p>【P56 4-1 (3)】</p> <p>デマンド型交通の利便性向上について把握するための評価指標として、<u>あいのりタクシー及びあいのりバスの年間利用者数を設定する。</u></p>	<p>【P56 4-1 (3)】</p> <p>本計画の基本方針である「生活と交通の拠点の整備」に基づき実施される<u>施策により、デマンド型交通の利便性向上を目指すことから、</u>評価指標として、あいのりタクシー及びあいのりバスの年間利用者数を設定する。</p>
<p>【P57 4-1 (4)】</p> <p>企画乗車券(バスパック等)の利用状況について把握するための評価指標として、<u>バスパック年間利用者数を設定する。</u></p>	<p>【P57 4-1 (4)】</p> <p>本計画の基本方針である「市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施」に基づき実施される<u>施策により、企画乗車券(バスパック等)の利用促進を図ることから、</u>評価指標として、バスパック年間利用者数を設定する。</p>

新	旧
<p>【P57 4-1 (5)】 バスロケーションシステムの普及並びに多言語化の状況について把握するための評価指標として、バスロケーションシステムの外国語表示閲覧数を設定する。</p>	<p>【P57 4-1 (5)】 本計画の基本方針である「市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施」に基づき実施される施策により、バスロケーションシステムの普及並びに多言語化を図ることから、評価指標として、バスロケーションシステムの外国語表示閲覧数を設定する。</p>
<p>【P58 4-1 (6)】 高齢者の路線バスの利用状況について把握するための評価指標として、高齢者の路線バス利用者数を設定する。</p>	<p>【P58 4-1 (6)】 本計画の基本方針である「利用促進施策の推進」に基づき実施される施策により、高齢者の路線バスの利用促進を図ることから、評価指標として、高齢者の路線バス利用者数を設定する。</p>
<p>【P58 4-1 (7)】 ノーカーデーの取組状況について把握するための評価指標として、ノーカーデー年間参加者数を設定する。</p>	<p>【P58 4-1 (7)】 本計画の基本方針である「利用促進施策の推進」に基づき実施される施策により、ノーカーデーの取組促進を図ることから、評価指標として、ノーカーデー年間参加者数を設定する。</p>
<p>【P59 4-2-1 (1) ①バス路線の再編 <路線再編にあたっての基本的な考え方>】 ・帯広駅周辺は、半径約1kmに市役所や帯広第一病院、イオン帯広店などの施設が立地しており、帯広駅端末ではなく、帯広駅を経由することで利用者ニーズを満たしている路線が存在していることから、交通拠点である帯広駅を中心としたネットワークを基本としつつも、利用者ニーズを踏まえた運行経路とする。</p>	<p>【P59 4-2-1 (1) ①バス路線の再編 <路線再編にあたっての基本的な考え方>】 ・帯広駅周辺は、半径約1kmに市役所や帯広第一病院、イオン帯広店などの施設が立地しており、帯広駅端末ではなく、帯広駅を経由することで利用者ニーズを満たしている路線が存在していることから、交通拠点である帯広駅を中心としたネットワークを基本としつつも、<u>既存</u>の利用者ニーズを踏まえた運行経路とする。</p>
<p>【P60 4-2-1 (1) ②バスダイヤの見直し】 ・二次交通としての機能を強化すべく、JRや都市間高速バスのほか、市街地ととち帯広空港間を結ぶ空港連絡バスとの接続についても見直しを行い、生活交通に留まらない、利便性の向上を目指す。</p>	<p>【P60 4-2-1 (1) ②バスダイヤの見直し】 ・二次交通としての機能を強化すべく、JRの運行状況や市街地ととち帯広空港間を結ぶ空港連絡バスとの接続についても見直しを行い、生活交通に留まらない、利便性の向上を目指す。</p>

新	旧
<p>【P61 4-2-1 (3) ②帯広駅バスターミナル待合所の老朽化対策】</p> <p>・帯広駅バスターミナルは、帯広市及び十勝圏における二次交通の要の施設であるが、待合所の老朽化が進行していることから、公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、<u>老朽化対策を進める。</u></p> <p>▼想定事業スケジュール</p> <p>H29～：老朽化対策の<u>実施</u></p>	<p>【P61 4-2-1 (3) ②帯広駅バスターミナル待合所の老朽化対策】</p> <p>・帯広駅バスターミナルは、帯広市及び十勝圏における二次交通の要の施設であるが、待合所の老朽化が進行していることから、公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、<u>老朽化対策の検討を行う。</u></p> <p>▼想定事業スケジュール</p> <p>H29～：老朽化対策の<u>検討</u>（以降、検討状況に応じ実施）</p>
<p>【P65 4-2-3 (2) ①分かりやすいバスマップの作成】</p> <p>▼想定事業スケジュール</p> <p>H29：路線再編によるバスマップの<u>作成・配布</u></p> <p>H30：路線再編及び内容見直しに伴うバスマップの<u>作成・配布</u></p>	<p>【P65 4-2-3 (2) ①分かりやすいバスマップの作成】</p> <p>▼想定事業スケジュール</p> <p>H29：路線再編によるバスマップの<u>修正</u></p> <p>H30：路線再編及び内容見直しに伴うバスマップの<u>更新</u></p>
<p>【P66 4-2-3 (2) ②分かりやすい時刻表の作成】</p> <p>▼想定事業スケジュール</p> <p>H29：時刻表掲載内容の整理、時刻表の<u>作成・配布</u></p> <p>H30：路線再編の見直しに伴う時刻表の<u>作成・配布</u></p>	<p>【P66 4-2-3 (2) ②分かりやすい時刻表の作成】</p> <p>▼想定事業スケジュール</p> <p>H29：時刻表掲載内容の整理、時刻表の<u>作成</u></p> <p>H30：路線再編の見直しに伴う時刻表の<u>更新</u></p>
<p>【P68 4-2-4 (1) ①小学生向けMMの実施】</p> <p>・小学校における交通環境学習について、<u>授業で活用できる教材の提供等により、小学校における自主的なMM教育の実践を図る。</u></p>	<p>【P68 4-2-4 (1) ①小学生向けMMの実施】</p> <p>・小学校における交通環境学習の実施について定める「帯広市交通環境学習プラン」に基づき、<u>小学校における自主的なMM教育の実践を計る。</u></p>
<p>【P70 4-3】</p> <p>※施策メニュー「帯広駅バスターミナル待合所の老朽化対策」の想定事業スケジュール</p> <p>H29～H33 <u>実施</u></p>	<p>【P70 4-3】</p> <p>※施策メニュー「帯広駅バスターミナル待合所の老朽化対策」の想定事業スケジュール</p> <p>H29～H33 <u>検討</u>（検討状況に応じ実施）</p>
<p>【P70 4-3】</p> <p>※施策メニュー「分かりやすいバスマップの作成」の想定事業スケジュール</p> <p>H29～H33 <u>作成配布</u></p>	<p>【P70 4-3】</p> <p>※施策メニュー「分かりやすいバスマップの作成」の想定事業スケジュール</p> <p>H29 <u>修正</u></p> <p>H30～H33 <u>作成配布</u></p>